

～創刊号を発行～  
「ぬまづ上下水道だより」を発行します！

要 旨

沼津市水道部では、住民の方々に、沼津市の水道事業及び下水道事業について、より理解を深めていただくため、「ぬまづ上下水道だより」創刊号を発行します。

組回覧や12月1日(木)からは各市民窓口事務所等の公共施設に配架し、周知を図ります。

概 要

1 掲載内容

- ・本市の清浄で豊潤な水の源である「泉水源地」の紹介
- ・令和3年度における決算状況
- ・スマートフォン決済（PayPay・LINE Pay）など水道料金、下水道使用料における便利な納付方法や下水道接続に係る融資あっ旋等のお知らせ

2 発行時期 令和4年12月発行

3 特記事項

- ・今後は、基本、年に1回程度発行を予定しています。(但し、状況に応じて随時発行)
- ・沼津市水道部公式 Facebook の QR コードを掲載しています。  
※Facebook には水道及び下水道に関するさまざまな情報を掲載しています。
- ・水道事業の給水区域となっている清水町には、別途「水道だより」を発行し、清水町の組回覧や公共施設等に配架します。



写真は沼津市版です

お問い合わせ先

沼津市役所 水道部 水道総務課  
直通:055-934-4862







# ぬまづ 上下水道だより

## 公共下水道への切り換え

公共下水道は、川や海の水質を保全し、快適な生活環境を守るために重要な役割を果たしていますが、整備した公共下水道を利用していただかなければその効果を上げることができません。

そのため、公共下水道が供用開始された区域の汚水・雑排水は供用開始後6ヶ月以内に公共下水道に流入させること、また、くみ取り便所は公共下水道の供用開始後3年以内に水洗便所に改造することが義務付けられています。皆様のご協力をお願いします。

※公共下水道へ接続するための排水設備工事等は、排水設備指定工事店へお申し込みください。

## 融資あっ旋及び利子補給制度

公共下水道を早期に利用していただくため、市では排水設備工事や水洗便所への改造工事をされる方に対し、金融機関への融資あっ旋と利子補給を行っています。

### ●対象となる工事

公共下水道へ接続するための水洗便所への改造工事及び排水設備工事(新築を除く)

### ●融資金額

工事に要する費用の範囲内で、5万円以上200万円以下(1万円単位)

### ●利子補給制度

公共下水道の供用開始後3年以内に工事が完了した場合、貸付金に伴う利子は市が全額負担します。

※融資のあっ旋を受けることのできる人には条件があります。

## スマートフォン決済等をご利用ください

水道料金・下水道使用料のお支払いには便利なスマートフォン決済(PayPay・LINE Pay)や口座振替をご利用ください。

### <ご利用方法>

#### 1. スマートフォン決済

- ①バーコードが印字された納入通知書とカメラ機能付きのスマートフォン又はタブレットを用意します。
- ②アプリから納入通知書に印字されたバーコードを読み取ります。
- ③画面に表示される内容を確認し、間違いがなければ「支払う」をタップして完了です。



#### 2. 口座振替

領収書又は「使用水量等のお知らせ」と預金通帳、お届け印を持って、市内の金融機関の窓口にある申込書でお申込みください。また、電話でご連絡いただければ申込書を郵送します。



お問い合わせ 水道サービス課 ☎055-934-4856

詳細は、沼津市公式ホームページをご確認ください。 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp>

## 【フェンシング日本代表選手も味わっています!】

5/26(木)~6/4(土)に沼津市内で合宿を行ったフェンシング男女フルレ日本代表チームへ、おもてなしの一環として「ぬまづの水gift」ペットボトルを提供させていただきました。

選手からは、「美味しい!」「飲みやすい!」という声や「沼津は、水道水も美味しくてビックリした」という言葉をいただきました。

個人のSNSで発信して下さった選手もいたようですよ。

日本代表選手にも好評の沼津の水を誇りに思います。



ぬまづ上下水道だより 令和4年12月 沼津市御幸町16-1 沼津市水道総務課 ☎055-934-4862



## まちを潤す、 泉水源地。

東洋一の湧水量を誇る柿田川のすぐ隣に位置する「泉水源地」は、湧水池及び7本の深井戸があり、総湧水量は1日13万トンに及びます。

泉水源地を管理する送水管理センターの給水範囲は、沼津市の西は東椎路、南は内浦三津付近、また清水町全域と広範囲にわたり、全体給水量の約6割、概ね15万人に給水しています。

沼津の水は、世界遺産富士山の恵みである豊富な地下水を自然水に近い状態で住民の皆さんにお届けできることから、美味しいということに加え、全国トップクラスの安価な料金となっています。



# 令和3年度 水道事業会計決算

水道事業の経営に要する費用は、主に利用者の皆さまからいただく水道料金で賄っています。

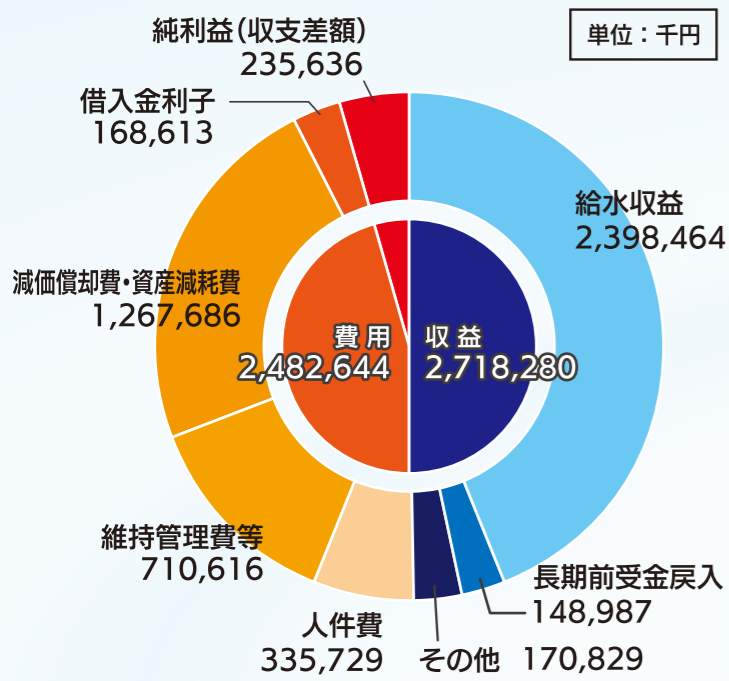
令和3年度は、経費削減等に努め、約2億3,600万円の純利益を計上することができました。

しかし、人口減少や節水機器の普及、節水意識の高まりなどから経営の根幹である水道料金の収入は年々減少しており、今後も続くことが見込まれています。

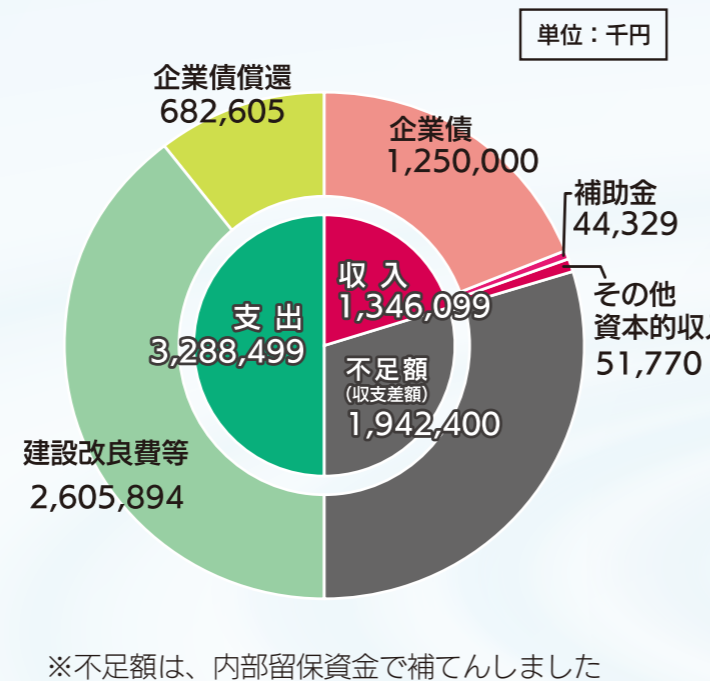
安全・安心で良質な水の安定供給と災害時における安定給水のため、今後も老朽化した配水管等の更新や水道施設の耐震化を計画的に進めるとともに、引き続き経費の削減等、業務の効率化に取り組み、経営基盤の強化に努めます。

また、水道料金については、5年以内ごとに沼津市水道事業及び下水道事業経営審議会において審議することとなり(前回:令和元年度)、今後、適正な料金のあり方について検討していきます。

## 収益的収支 (税抜) 事業の経営活動に要するもの



## 資本的収支 (税込) 施設の整備に要するもの



## 令和3年度の主な工事

毎年、配水管や設備等の更新・耐震化事業を実施しています。令和3年度は下記のとおり実施しました。

- <更新事業> 1,931,225千円
  - ・配水管布設替 10.3Km
  - ・老朽化や不具合による設備の更新整備等
- <耐震化事業> 575,991千円
  - ・配水管布設替 2.9Km 耐震化率 39.9%
  - ・配水池 3,350 m<sup>3</sup> 耐震化率 83.5%



## 数字でみる沼津の水道 (令和3年度末) ※清水町含む

給水人口	220,914人
給水戸数	105,988戸
普及率	99.7%
年間配水量	31,746,579m <sup>3</sup>
有収水量(※1)	27,828,992m <sup>3</sup>
料金回収率(※2)	103.2%

(※1)有収水量…料金収入の対象となった水量  
(※2)料金回収率…給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えたかを示した指標

# 令和3年度 下水道事業会計決算

下水道事業の経営に要する費用は、主に利用者の皆さまからいただく下水道使用料と一般会計からの補助金で賄っています。

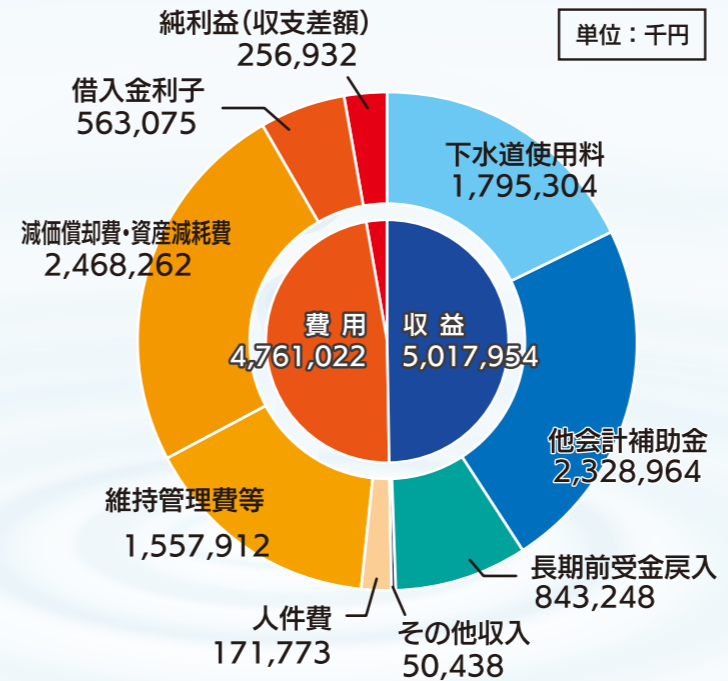
令和3年度は、経費削減等に努め、約2億5,700万円の純利益を計上することができました。

沼津市の下水道人口普及率は未だ62%の整備途上であり、今後も普及を推進し、管路の更新や施設の長寿命化、耐震化に取り組むことで、公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全を図っていきます。

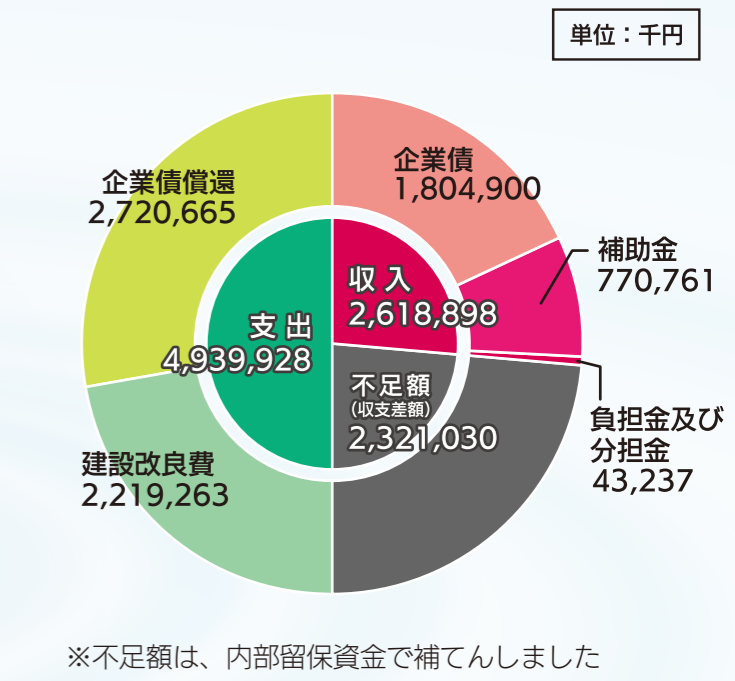
今後も計画的に整備を進めるとともに、引き続き経費の削減等、業務の効率化に取り組み、経営基盤の強化に努めます。

また、下水道使用料については、5年以内ごとに沼津市水道事業及び下水道事業経営審議会において審議することとなり(前回:平成30年度)、今後、適正な使用料のあり方について検討していきます。

## 収益的収支 (税抜) 事業の経営活動に要するもの



## 資本的収支 (税込) 施設の整備に要するもの



## 令和3年度の主な工事

毎年、普及促進・耐震化・長寿命化事業を実施しています。令和3年度は下記のとおり実施しました。

- <普及促進事業> 1,797,527千円
  - ・大岡、大諏訪等 6.7Km
- <耐震化事業> 25,260千円
  - ・管路耐震設計・耐震化工事
- <長寿命化事業> 206,620千円
  - ・中部浄化プラント設備更新工事他



## 数字でみる沼津市の下水道 (令和3年度末)

人口普及率	62.0%
水洗化件数	51,241件
水洗化人口	103,419人
水洗化率	87.6%
有収水量(※1)	13,620,411m <sup>3</sup>
経費回収率(※2)	67.2%

(※1)有収水量…使用料収入の対象となった水量  
(※2)経費回収率…汚水処理に係る費用が、どの程度下水道使用料で賄えたかを示した指標



# 水道だより

2022.12 vol.01

回覧



沼津市水道総務課 沼津市御幸町16-1 ☎055-934-4862

## まちを潤す、 泉水源地。

東洋一の湧水量を誇る柿田川のすぐ隣に位置する「泉水源地」は、湧水池及び7本の深井戸があり、総湧水量は1日13万トンに及びます。

泉水源地を管理する送水管理センターの給水範囲は、清水町全域と沼津市の西は東椎路、南は内浦三津付近と広範囲にわたり、全体給水量の約6割、概ね15万人に給水しています。

皆様にお届けしている水は、世界遺産富士山の恵みである豊富な地下水を自然水に近い状態で供給していることから、美味しいことに加え、全国トップクラスの安価な料金となっています。



# 令和3年度 沼津市水道事業会計決算

水道事業の経営に要する費用は、主に利用者である沼津市と清水町の皆さまからいただく水道料金で賄っています。

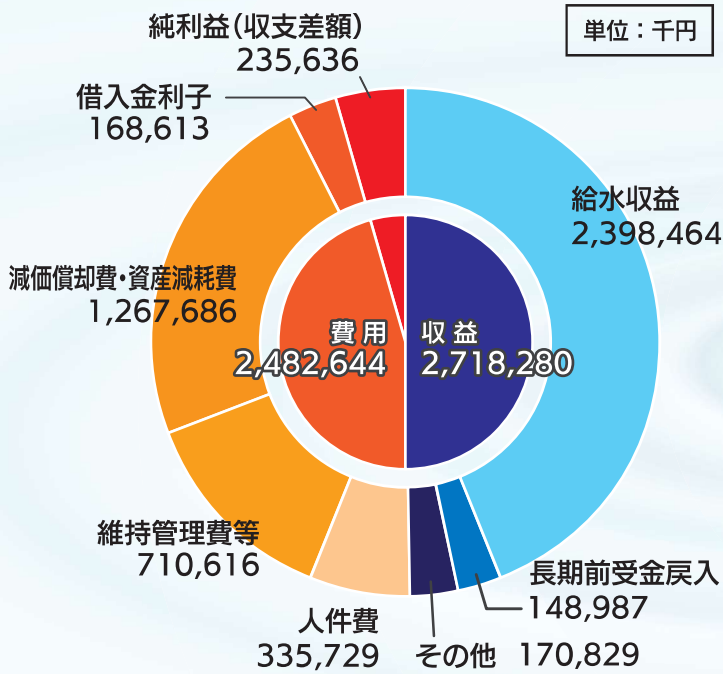
令和3年度は、経費削減等に努め、約2億3,600万円の純利益を計上することができました。

しかし、人口減少や節水機器の普及、節水意識の高まりなどから経営の根幹である水道料金の収入は年々減少しており、今後も続くことが見込まれています。

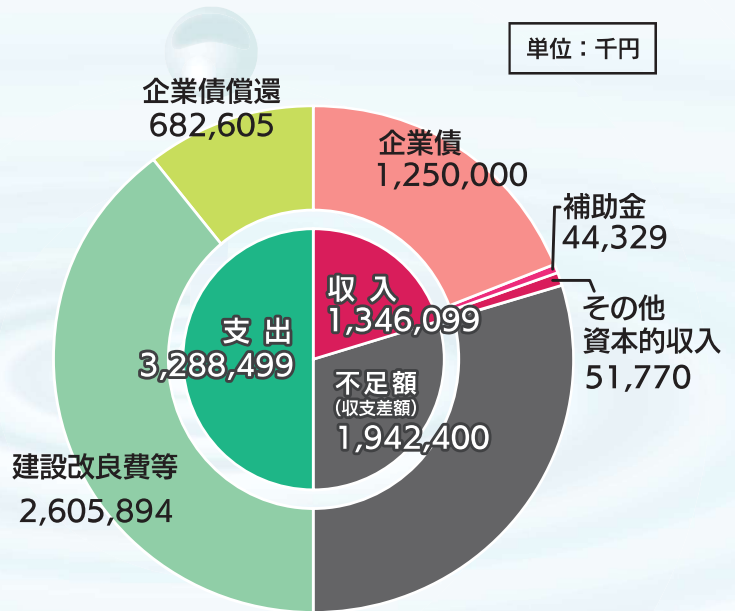
安全・安心で良質な水の安定供給と災害時における安定給水のため、今後も老朽化した配水管等の更新や水道施設の耐震化を計画的に進めるとともに、引き続き経費の削減等、業務の効率化に取り組み、経営基盤の強化に努めます。

また、水道料金については、5年以内ごとに沼津市水道事業及び下水道事業経営審議会において審議することとなっており(前回:令和元年度)、今後、適正な料金のあり方について検討していきます。

## 収益的収支 (税抜) 事業の経営活動に要するもの



## 資本的収支 (税込) 施設の整備に要するもの



※不足額は、内部留保資金で補てんしました

## 令和3年度の主な工事

毎年、配水管や設備等の更新・耐震化事業を実施しています。令和3年度は下記のとおり実施しました。

- <更新事業> 1,931,225 千円
  - ・配水管布設替 10.3Km
  - ・老朽化や不具合による設備の更新整備等
- <耐震化事業> 575,991 千円
  - ・配水管布設替 2.9Km 耐震化率 39.9%
  - ・配水池 3,350 m<sup>3</sup> 耐震化率 83.5%



## 数字で見る水道事業の状況 (令和3年度末)

給水人口	220,914人
給水戸数	105,988戸
普及率	99.7%
年間配水量	31,746,579m <sup>3</sup>
有収水量(※1)	27,828,992m <sup>3</sup>
料金回収率(※2)	103.2%

(※1)有収水量…料金収入の対象となった水量

(※2)料金回収率…給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えたかを示した指標